



大正から昭和初期に活躍し世界的に著名な日本画家「速水御舟」の業績をたどる。そして、国重要文化財にもなった名画の数々が生み出された画室が昭和30年に目黒から茅ヶ崎市内の御舟別荘地に移築された経緯について検証し、広く茅ヶ崎市民及び速水御舟に興味をお持ちの全ての人々に知っていただく計画をしました。

茅ヶ崎市美術館
館長 小川稔

速水御舟の足跡と
茅ヶ崎とのかかわりについて

関東学院大学
名誉教授 水沼淑子

速水御舟画室について

茅ヶ崎市観光協会＝DMO
会長 田中賢三

茅ヶ崎の魅力ある資源

茅ヶ崎に発見
偉大な日本画家
速水御舟を
生んだアトリエ

2021
4/17 土
14:30 - 16:30

インターネットライブ配信



YouTube

にてご視聴できます。

「速水御舟と茅ヶ崎」のゆかりをたどる会のYouTubeチャンネルでご覧いただけます。
ご視聴方法の詳細は裏面をご覧ください。

[主催] “速水御舟と茅ヶ崎”のゆかりをたどる会
[共催] (社)茅ヶ崎市観光協会＝DMO / (公)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
NPO法人茅ヶ崎の文化景観を育む会
[後援] 茅ヶ崎市 / 茅ヶ崎商工会議所 他

PROFILE

茅ヶ崎市美術館 館長

小川 稔

MINORU OGAWA

東京芸術大学美術学部卒業、同修士課程修了。専門は日本・東洋美術史。2010年、茅ヶ崎市美術館において「速水御舟展 — 茅ヶ崎と御舟」を開催。2011年には「川上音二郎・貞奴展」を開催。2013年より市民向け講座「よみなおし日本美術史」を担当。長野県、松本市美術館館長も兼任。

関東学院大学 名誉教授

水沼 淑子

YOSHIKO MIZUNUMA

日本女子大学家政学研究科住居学専攻修了後、同大学助手を経て、2002年から関東学院大学教授。2020年より名誉教授。神奈川県を中心に文化財保護関連の審議会委員や景観まちづくり関連の審議会委員などを務める。著書に『J.H.モーガンアメリカと日本を生きる建築家』（関東学院出版）『日本住居史』（共著・吉川弘文館）など。

茅ヶ崎市観光協会会長

田中 賢三

KENZO TANAKA

一般社団法人茅ヶ崎市観光協会会長。日本精麦株式会社代表取締役会長。茅ヶ崎商工会議所会頭を経て現在は顧問を務める。国際ロータリー第2780地区2015-16年度ガバナー。趣味は60歳から始めた油絵。

GYOSHU & HAYAMI CHIGASAKI

速水御舟と茅ヶ崎



速水御舟（1894–1935）は大正期末期の《炎舞》や昭和初期の《名樹散椿》（各重要文化財）の作者として誰もが知る近代日本画家である。2010年、茅ヶ崎市美術館では晩年の女性人物画に焦点をあてた特別展を開催したが、その折展示された《花の傍》のモデルをつとめた婦人が後に氷室椿庭園の主となったことなど、茅ヶ崎と御舟の関係について改めて考えなおすきっかけともなった。一般には知られていないが市内に《炎舞》や《名樹散椿》を生んだ画室が現存する可能性が指摘されている。もとは現在の品川区上大崎、ないし目黒区三田辺に在って、画家没後20年の昭和30年秋に未亡人、弥（いよ）氏により移築されたのではないかと考えられている。今回のシンポジウムでは御舟がかかわったふたつの土地、目黒と茅ヶ崎が建築物によって結ばれることを考察し、近代文化史と茅ヶ崎のかかわりについて理解をふかめ、さらに、次世代に遺すべき文化遺産についても考えたい。また、目黒時代の御舟に重要な影響をあたえた画家、今村紫紅（1880–1916）の旧居の可能性がある建物についても言及したい。これを機会に多くの市民の皆様に関心をお持ちいただければ幸いである。



YouTube での視聴方法

ライブ配信終了後も「速水御舟と茅ヶ崎」のゆかりをたどる会のYouTubeチャンネルでアーカイブをお楽しみいただけます。チャンネル登録もお願いします！

[パソコンの場合]

YouTube 内の検索から「速水御舟と茅ヶ崎」のゆかりをたどる会で検索してチャンネルへアクセスしてください。ライブ配信の予告が表示されていますので、時間になりましたらクリックしてご視聴ください。

[スマートフォンの場合]

右記 QR コードより配信画面へアクセスしてください。配信開始になりますと、自動的にライブ配信が開始されます。

